



寒さが一段と厳しく感じられたかと思えば、暖かい日もあり園庭に出ると元気いっぱい走りまわる子どもたちです。

早いもので、りす組で過ごすのもあと2ヶ月となりました。できる事が少しずつ増えてきて「せんせい、これ出来ん!」と言っていた子どもたちが、今では上着のファスナーを「チャックを下まで下げて、入れて…」と自分でやってみたり、お昼寝のコットシーツを自分でたためるようになっていたりして成長を感じます。そして時々「難しい」と話す子に、何人かの子どもたちが集まって「こうやってやるんだよ」、「こうやってしてみて」と教えに行く姿に小さな保育士さんが沢山いるなと微笑ましく見えています。優しい思いやりの気持ちが素敵な子どもたちです。



獅子舞に噛まれたら…

りす組の壁面にも飾ってある獅子舞が新年お楽しみ会に来るといってお話をしていて「獅子舞さんに頭をかまれると良いことがあるんだよ」と教えていました。そこから「噛まれたらラッキー」を合言葉に心待ちにする子もいました。

いざ、新年お楽しみ会の日。子どもたちはそわそわしながらホールに行き、今か今かと獅子舞を待っていました。出てきたときはびっくりしてしまう子もいましたが、噛まれて喜ぶ子、ちょっぴり隠れちゃう子、それぞれ違った反応でした。しかし会が終わった後に泣けてしまう子がいて理由を聞くと「噛んでももらえなかった」とショックな子も…。小さな獅子舞さんにお部屋へ来てもらい、その子を含め、頭を噛んでももらい嬉しそうでした。「噛まれたらラッキー」と嬉しそうに話していました。



鬼は外～福は内～♪

2月3日の節分がもうすぐやってくるということで朝の会で豆まきの歌を歌っています。枀やお面を作ったり、鬼の絵本を読んだりして気持ちが高まっている子どもたち。豆まきの歌も大きな声で歌ってくれます。豆を撒く振り付けはとっても大きな振り付けなので、2日の節分の会でも鬼に向かって「鬼は外」できるといいです。

